

卒業論文

ディズニーランドのバリアフリーを生活環境に取り入れた空間作り

佐々木景輔 21011171

概要：

近年、少子高齢化が進み公共施設をはじめとしてデパートなどの民間企業の多くで、施設におけるバリアフリー化が進んできている。これからの将来、バリアフリーを必要とする利用者が増えてくる事も考えられ、バリアフリーの重要性は高まっていく必要があると思う。その中で私が着目したのがディズニーランドのバリアフリーである。ディズニーランドのバリアフリーは外からも評価されており、パークを運営しているオリエンタルランドは、2004年に内閣府から「内閣官房長官表彰」というのを受賞している。これは、障がい者や高齢者の利用上の障がいを除去し、円滑に利用をできるようにする取り組みの推進に功績があったとして公的に高く評価されている。この論文は、ディズニーのバリアフリーを通常的生活環境でバリアフリーを必要とされている人へいくつか導入し、生活をしやすい空間にしていく事を提案していく。

内容：

バリアフリーの背景

ディズニーランドのバリアフリーの魅力

実施されている9つのバリアフリー

ディズニーランドバリアフリーを生活環境に活かす

まとめ

参考文献：

参考文献：ディズニーの空間科学

作者 山口有次

発行所：株式会社 学文社

2009年4月20日 第1版1刷発行